

東京書籍「新編論理国語」(論国 002-901)

■「対話とは何か」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・「逆説」「例示」「根拠」を表す接続表現や、譲歩表現を用いて想定される反論に適切な反論を用意していることを整理し、それがもたらす表現の効果について理解し、説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 ・「逆説」「例示」「根拠」を表す接続表現や、譲歩表現を用いて想定される反論に適切な反論を用意していることを整理し、それがもたらす表現の効果について理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 ・「逆説」「例示」「根拠」を表す接続表現や、譲歩表現を用いて想定される反論に適切な反論を用意していることを整理せず、それがもたらす表現の効果について理解していない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読(1) ア	・「対話」と「おしゃべり」の違いについて、本文中にある対比的表現を整理して指摘し、説明している。	・「対話」と「おしゃべり」の違いについて、本文中にある対比的表現を整理して指摘している。	・「対話」と「おしゃべり」の違いについて、本文中にある対比的表現を整理していない。
	④内容把握 読(1) ア	・「他者不在の言語活動」とはどのようなことかを読み取り、説明している。 ・「ダイアログとしての対話行為」とはどのような行為であるかを本文の論旨をもとに読み取り、説明している。 ・筆者の考える「対話」の意義について読み取り、説明している。	・「他者不在の言語活動」とはどのようなことかを読み取っている。 ・「ダイアログとしての対話行為」とはどのような行為であるかを本文の論旨をもとに読み取っている。 ・筆者の考える「対話」の意義について読み取っている。	・「他者不在の言語活動」とはどのようなことかを読み取っていない。 ・「ダイアログとしての対話行為」とはどのような行為であるかを本文の論旨をもとに読み取っていない。 ・筆者の考える「対話」の意義について読み取っていない。
	⑤筆者の意図の解釈 読(1) エ	・読み手に対して疑問形を用いて問いかけ、話しかけるような表現を用いた筆者の意図につ	・読み手に対して疑問形を用いて問いかけ、話しかけるような表現を用いた筆者の意図につ	・読み手に対して疑問形を用いて問いかけ、話しかけるような表現を用いた筆者の意図につ

		いて推測し、その表現の効果について、理解し説明している。	いて推測し、その表現の効果について、理解している。	いて推測せず、その表現の効果について、理解していない。
	⑥情報の収集 書(1)ア	・筆者の主張を踏まえ、「おしゃべり」と「対話」の違いを図や表にまとめるために、本文から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・筆者の主張を踏まえ、「おしゃべり」と「対話」の違いを図や表にまとめるために、本文から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・筆者の主張を踏まえ、「おしゃべり」と「対話」の違いを図や表にまとめるために、本文から必要な情報を収集・整理していないか、収集・整理していても根拠となる題材を選んでいる。
主体的に学習に取り組む態度	⑦学習への態度	・「おしゃべり」と「対話」の違いについての筆者の主張を踏まえたうえで、自分のこれまでの日常生活におけるコミュニケーションの在り方を振り返ってまとめ、今後の生活に生かそうとしている。	・「おしゃべり」と「対話」の違いについての筆者の主張を踏まえたうえで、自分のこれまでの日常生活におけるコミュニケーションの在り方を振り返ってまとめている。	・「おしゃべり」と「対話」の違いについての筆者の主張を踏まえたうえで、自分のこれまでの日常生活におけるコミュニケーションの在り方を振り返ってまとめていない。

■「新しい文脈」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・「例示」を表す表現を整理し、それがもたらす表現の効果について理解し、説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 ・「例示」を表す表現を整理し、それがもたらす表現の効果について理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 ・「例示」を表す表現を整理し、それがもたらす表現の効果について理解していない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読(1) ア	・読書における「文脈」について筆者の主張を読み取り、どのようなものであるかを理解し、説明している。	・読書における「文脈」について筆者の主張を読み取り、どのようなものであるかを理解している。	・読書における「文脈」について筆者の主張を読み取り、どのようなものであるかを理解していない。
	④内容把握 読(1) ア	・筆者が本の中に存在していると考えている知とはどのようなものかを読み取り、説明している。 ・筆者が読書から離れてもよいと考えている状況を読み取り、説明している。 ・読書を役に立つか立たないか関係ないとする意見に対する筆者の考えを読み取り、説明している。	・筆者が本の中に存在していると考えている知とはどのようなものかを読み取っている。 ・筆者が読書から離れてもよいと考えている状況を読み取っている。 ・読書を役に立つか立たないか関係ないとする意見に対する筆者の考えを読み取っている。	・筆者が本の中に存在していると考えている知とはどのようなものかを読み取っていない。 ・筆者が読書から離れてもよいと考えている状況を読み取っていない。 ・読書を役に立つか立たないか関係ないとする意見に対する筆者の考えを読み取っていない。
	⑤表現の特徴の理解 読(1) エ	・一文の改行や体言止め、「――」(ダッシュ)の付された意味を考え、説明している。	・一文の改行や体言止め、「――」(ダッシュ)の付された意味を考えている。	・一文の改行や体言止め、「――」(ダッシュ)の付された意味を考えていない。
	⑥考えの形成 読(1) カ	・本文から読み取った、読書における「新しい文脈」について、自分の既有的知識や経験、	・本文から読み取った、読書における「新しい文脈」について、自分の既有的知識や経験、	・本文から読み取った、読書における「新しい文脈」について、自分の既有的知識や経験、

		話し合いなどで得た他者の意見や価値観などとも結び付け、自分の考えを見つめ直してまとめたことを示している。	話し合いなどで得た他者の意見や価値観などとも結び付け、自分の考えを見つめ直している。	話し合いなどで得た他者の意見や価値観などとも結び付け、自分の考えを見つめ直していない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑦学習への態度	・読書における「文脈」について読み取り、自分の読書体験を振り返って、読書についての理解を深め、説明しようとしている。	・読書における「文脈」について読み取り、自分の読書体験を振り返って、読書についての理解を深めようとしている。	・読書における「文脈」について読み取り、自分の読書体験を振り返って、読書についての理解を深めようとしていない。

■「【論理の力】論理とは何か」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①推論の理解 (2)ウ	・前提から結論に至る演繹的な推論について、取り上げられた例について理解し、論理的文章における展開の方法とつなげて捉えている。	・前提から結論に至る演繹的な推論について、取り上げられた例について理解している。	・前提から結論に至る演繹的な推論について、取り上げられた例について理解していない。
	②情報の整理と理解 (2)アイ	・言葉と言葉が的確に関連し合う「論理」の重要性を理解し、筋道だった文章における情報の関係性を的確に捉えている。	・言葉と言葉が的確に関連し合う「論理」の重要性を理解し、筋道だった文章における情報の関係性を捉えている。	・言葉と言葉が的確に関連し合う「論理」の重要性を理解しておらず、筋道だった文章における情報の関係性を捉えていない。
思考・判断・表現	③妥当性の吟味 読(1)ウ	・取り上げられた問題について、文章中の「問い」を手がかりにして、文章の内容を批判的に捉え、論点を明確にしながら読んでいる。	・取り上げられた問題について、文章中の「問い」を手がかりにして、文章の内容を批判的に捉えている。	・取り上げられた問題について、文章中の「問い」を手がかりにせず、文章の内容を批判的に捉えていない。
	④論理の展開の把握 読(1)エ	・取り上げられた問題について、多面的な視点で読み、論理の展開を批判的に捉え、論点を明確にしている。	・取り上げられた問題について、多面的な視点で読み、論理の展開を批判的に捉えている。	・取り上げられた問題について、多面的な視点で読まず、論理の展開を批判的に捉えていない。
学習に取り組む態度	⑤学習への態度	・「論理」について、推論の仕方や文章の流れから理解し、他の文章においても理解したことを適切に用いながら読もうとしている。	・「論理」について、推論の仕方や文章の流れから理解し、取り上げられた問題を読もうとしている。	・「論理」について、推論の仕方や文章の流れから理解せず、取り上げられた問題を読もうとしていない。

■「少女たちの『ひろしま』」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③資料との関係把握 読(1)イ	・写真とそれに関する文章をもとに、筆者が写真から受けた「衝撃」の内実について読み取り、説明している。 ・写真とそれに関する文章をもとに、「洋服たち」に対する二つの「視点」について理解し、説明している。 ・写真とそれに関する文章をもとに、筆者が「彼女たち」を身近な存在として感じた理由を読み取り、説明している。 ・筆者が「回路」を見つけるにあたり、写真の資料から見いだしたものが何であるかを読み取り、筆者の「思い」を理解し、説明している。 ・二五ページと二七ページの写真を多角的な視点で捉え、説明している。	・写真とそれに関する文章をもとに、筆者が写真から受けた「衝撃」の内実について読み取っている。 ・写真とそれに関する文章をもとに、「洋服たち」に対する二つの「視点」について理解している。 ・写真とそれに関する文章をもとに、筆者が「彼女たち」を身近な存在として感じた理由を読み取っている。 ・筆者が「回路」を見つけるにあたり、写真の資料から見いだしたものが何であるかを読み取り、筆者の「思い」を理解している。 ・二五ページと二七ページの写真を多角的な視点で捉えている。	・写真とそれに関する文章をもとに、筆者が写真から受けた「衝撃」の内実について読み取っていない。 ・写真とそれに関する文章をもとに、「洋服たち」に対する二つの「視点」について理解していない。 ・写真とそれに関する文章をもとに、筆者が「彼女たち」を身近な存在として感じた理由を読み取っていない。 ・筆者が「回路」を見つけるにあたり、写真の資料から見いだしたものが何であるかを読み取っていないか、読み取っていても筆者の「思い」を理解していない。 ・二五ページと二七ページの写真を多角的な視点で捉えていない。
	④筆者の意図の解釈 読(1)エ	・冒頭の一文の「それは…本だった」という修辞および「全ての…中で、最も」という最上	・冒頭の一文の「それは…本だった」という修辞および「全ての…中で、最も」という最上	・冒頭の一文の「それは…本だった」という修辞および「全ての…中で、最も」という最上

主体的に 学習に取り組む 態度		級表現の仕方についての筆者の意図を読み取り、説明している。 ・「写真」を説明する筆者の評語「かわいらしい」「おしゃれ」の意図について理解し、説明している。 ・「暗がり」「陽の光」の対比関係に時間の前後関係による対立を持ち込むことで、筆者の認識の変化を表現した意図について理解し、説明している。	級表現の仕方についての筆者の意図を読み取っている。 ・写真を説明する筆者の評語「かわいらしい」「おしゃれ」の意図について、理解している。 ・「暗がり」「陽の光」の対比関係に時間の前後関係による対立を持ち込むことで、筆者の認識の変化を表現した意図について、理解している。	級表現の仕方についての筆者の意図を読み取っていない。 ・写真を説明する筆者の評語「かわいらしい」「おしゃれ」の意図について、理解していない。 ・「暗がり」「陽の光」の対比関係に時間の前後関係による対立を持ち込むことで、筆者の認識の変化を表現した意図について、理解していない。
	⑤考えの形成 読(1)力	・筆者の述べる「二つの異なった『視点』」と、戦争についての既知の知識や他の文章とを相互に関連づけながら、自分の考えを深め、説明している。 ・広島、または長崎の原爆投下について調べることを通して、自分の考えを深め、説明している。	・筆者の述べる「二つの異なった『視点』」と、戦争についての既知の知識や他の文章とを相互に関連づけながら、自分の考えを深めている。 ・広島、または長崎の原爆投下について調べることを通して、自分の考えを深めている。	・筆者の述べる「二つの異なった『視点』」と、戦争についての既知の知識や他の文章とを相互に関連づけて考えを深めていない。 ・広島、または長崎の原爆投下について調べることを通して、自分の考えを深めていない。
	⑥学習への態度	・筆者の主張を踏まえ、戦時下の人々の日常やその時代の社会と自分との接点について考えを深め、説明しようとしている。	・筆者の主張を踏まえ、戦時下の人々の日常やその時代の社会と自分との接点について、考えを深めようとしている。	・筆者の主張を踏まえ、戦時下の人々の日常やその時代の社会と自分との接点について、考えを深めようとしていない。

■「【論理の力】要約する力」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①情報の理解 (2) ア	・文章を「幹」と「根」・「枝葉」の構造を持つものと捉えられることを理解し、主張と根拠、具体例などの関係を適切に捉えている。	・文章を「幹」と「根」・「枝葉」の構造を持つものと捉えられることを理解している。	・文章を「幹」と「根」・「枝葉」の構造を持つものと捉えられることを理解していない。
	②情報の整理 (2) イ	・論理的文章を要約するとき、問いと主張、その根拠や具体例などを重要度によって判断することの大切さを理解し、それぞれの関係性を適切に捉えている。	・論理的文章を要約するとき、問いと主張、その根拠や具体例などを重要度によって判断することの大切さを理解している。	・論理的文章を要約するとき、問いと主張、その根拠や具体例などを重要度によって判断することの大切さを理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・取り上げられた問題について、問いと答えの構造に注目して中心的主張を的確に捉えている。	・取り上げられた問題について、中心的主張を的確に捉えている。	・取り上げられた問題について、中心的主張を的確に捉えていない。
	④論理の展開の把握 読(1) エ	・取り上げられた問題について、問いと答えの構造に注目して論理の展開を的確に捉えている。	・取り上げられた問題について、論理の展開を的確に捉えている。	・取り上げられた問題について、論理の展開を的確に捉えていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤学習への態度	・論理的文章の構造と要約の関連性を理解し、他の文章についても理解したことを適切に用いながら読もうとしている。	・論理的文章の構造と要約の関連性を理解し、取り上げられた問題を読もうとしている。	・論理的文章の構造と要約の関連性を理解しておらず、取り上げられた問題を読もうとしていない。

■『ふしぎ』ということ」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③構成の把握 読(1) ア	・本文の三つの部分で取り上げている事柄や問題についての的確に捉え、説明している。	・本文の三つの部分で取り上げている事柄や問題についての的確に捉えている。	・本文の三つの部分で取り上げている事柄や問題についての的確に捉えていない。
	④内容把握 読(1) ア	・具体例を通して、「あたりまえ」と感じていることを「ふしぎ」と受け止めることの意義について理解し、説明している。 ・子供の説明が「物語」に直結していると述べていることについて読み取り、筆者の述べる「物語」の意味について理解し、説明している。 ・「論理的」とはということかを読み取り、論理的に考えることの意義について理解し、説明している。	・具体例を通して、「あたりまえ」と感じていることを「ふしぎ」と受け止めることの意義について理解している。 ・子供の説明が「物語」に直結していると述べていることについて読み取り、筆者の述べる「物語」の意味について理解している。 ・「論理的」とはということかを読み取り、論理的に考えることの意義について理解している。	・具体例を通して、「あたりまえ」と感じていることを「ふしぎ」と受け止めることの意義について理解していない。 ・子供の説明が「物語」に直結していると述べていることについて読み取っていないか、読み取っていても筆者の述べる「物語」の意味について理解していない。 ・「論理的」とはということかを読み取っていないか、読み取っていても論理的に考えることの意義について理解していない。
	⑤論点の把握 読(1) ア	・「自然科学の方法」と「物語」の違いについて読み取り、筆者の意見を理解し、説明している。	・「自然科学の方法」と「物語」の違いについて読み取り、筆者の意見を理解している。	・「自然科学の方法」と「物語」の違いについて読み取っていないか、読み取るのみにとどまり、筆者の意見を理解していない。
	⑥考えの形成 読(1) カ	・「自然科学によって世界を見ること」に対する筆者の考えを読み取り、「自然科学」について書かれた他の文章と相互に関連づけながら、	・「自然科学によって世界を見ること」に対する筆者の考えを読み取り、「自然科学」について書かれた他の文章と相互に関連づけながら、	・「自然科学によって世界を見ること」に対する筆者の考えを読み取っていないか、読み取っていても、「自然科学」について書かれた他の

		自身の「自然科学」に対するこれまでの見方や考え方を再検討し、自分の考えを深めている。 ・自分が「ふしぎ」だと思ったことについて、筆者の考えとこれまでの自身の経験を結び付け、考えを深め、根拠をもって説明している。	自身の「自然科学」に対するこれまでの見方や考え方を再検討している。 ・自分が「ふしぎ」だと思ったことについて、筆者の考えとこれまでの自身の経験を結び付け、考えを深めている。	文章と相互に関連づけながら、自身の「自然科学」に対するこれまでの見方や考え方を再検討していない。 ・自分が「ふしぎ」だと思ったことについて、筆者の考えとこれまでの自身の経験を結び付けておらず、考えを深めていない。
	⑦情報の収集 書（１）ア	・「ふしぎ」に関する具体例とそこから導かれる筆者の意見をまとめるために、本文から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・「ふしぎ」に関する具体例とそこから導かれる筆者の意見をまとめるために、本文から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・「ふしぎ」に関する具体例とそこから導かれる筆者の意見をまとめるために、本文から必要な情報を収集・整理しておらず、根拠となる題材を選んでいる。
主体的に学習に取り組む態度	⑧学習への態度	・筆者の主張を踏まえたうえで、「自然科学」と「物語」の捉え方について自分の考えを深め、説明しようとしている。	・筆者の主張を踏まえたうえで、「自然科学」と「物語」の捉え方について自分の考えを深めようとしている。	・筆者の主張を踏まえたうえで、「自然科学」と「物語」の捉え方について自分の考えを深めようとしていない。

■「【論理の力】つなげる力」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文章の構成 (1)ウ	・文章の接続関係や、接続表現によって文章の流れを明確に捉えることができることを理解し、適切な接続表現を用いている。	・文章の接続関係や、接続表現によって文章の流れを明確に捉えることができることを理解している。	・文章の接続関係や、接続表現によって文章の流れを明確に捉えることができることを理解していない。
	②接続関係の理解 (2)ア	・論理的な文章で接続関係を捉えるとき、接続表現を意識することの重要性を理解し、使われている接続表現を適切に捉えている。	・論理的な文章で接続関係を捉えるとき、接続表現を意識することの重要性を理解している。	・論理的な文章で接続関係を捉えるとき、接続表現を意識することの重要性を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1)ア	・取り上げられた問題について、接続表現に注意して内容を的確に捉え、接続関係の適切さを評価しながら読んでいる。	・取り上げられた問題について、接続表現に注意して内容を的確に捉えている。	・取り上げられた問題について、接続表現に注意せず、内容を的確に捉えていない。
	④論理の展開の把握 読(1)エ	・取り上げられた問題について、接続表現に注意して論理の展開を的確に捉え、接続関係の適切さを評価しながら読んでいる。	・取り上げられた問題について、接続表現に注意して論理の展開を的確に捉えている。	・取り上げられた問題について、接続表現に注意せず、論理の展開を的確に捉えていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤学習への態度	・さまざまな接続関係について、接続表現にもとづいて理解し、他の文章においても理解したことを適切に用いながら読もうとしている。	・さまざまな接続関係について、接続表現にもとづいて理解し、取り上げられた問題を読もうとしている。	・さまざまな接続関係について、接続表現にもとづいて理解せず、取り上げられた問題を読もうとしていない。

■ 「〔書く〕 資料を整理し、テーマを吟味しよう」 ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①情報の理解 〔2〕ア	・ 収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを対比的に検討し、理解している。	・ 収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを検討し、理解している。	・ 収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを理解していない。
	②情報の整理 〔2〕イ	・ 情報の信頼性や、具体性・抽象度に加え、重要度にも注意しながら、資料の特徴を可視化して整理している。	・ 情報の信頼性や、具体性・抽象度に注意しながら、資料の特徴を整理している。	・ 情報の信頼性や、具体性・抽象度に注意しながら、資料の特徴を整理していない。
思考・判断・表現	③情報の収集 書〔1〕ア	・ テーマに沿って、立場や主張に偏りがなく、多様な資料を収集している。	・ テーマに沿って、多様な資料を収集している。	・ テーマに沿って、多様な資料を収集していない。
	④情報の吟味 書〔1〕イ	・ 集めた資料の信用性を見極め、自分が論ずるテーマに沿う内容であるか吟味し、的確に整理している。	・ 集めた資料の信用性を見極め、自分が論ずるテーマに沿う内容であるか吟味している。	・ 集めた資料の信用性を見極めず、自分が論ずるテーマに沿う内容であるか吟味していない。
	⑤根拠の検討 書〔1〕エ	・ 整理した資料から、自分の立場や意見、問題意識を見直し、観点に沿ってテーマを検討し、自分の考えをまとめている。	・ 整理した資料から、自分の立場や意見、問題意識を見直し、観点に沿ってテーマを検討している。	・ 整理した資料から、自分の立場や意見、問題意識を見直さず、観点に沿ってテーマを検討していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑥学習への態度	・ 資料の収集・整理を通して、テーマを多面的・多角的に捉え直し、自分の考えを見直し、テーマに対して適切な判断を下そうとしている。	・ 資料の収集・整理を通して、自分の考えを見直し、テーマに対して適切な判断を下そうとしている。	・ 資料の収集・整理を通して、自分の考えを見直そうとしておらず、テーマに対して適切な判断を下そうとしていない。

■「学ぶことと人間の知恵」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・個々の段落の内容と段落相互の関係を理解し、説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 ・個々の段落の内容と段落相互の関係を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 ・個々の段落の内容と段落相互の関係を理解していない。
思考・判断・表現	③構成の把握 読(1) ア	・第一段と第五段の呼応関係を理解するとともに、文章全体の構成を理解し、説明している。	・第一段と第五段の呼応関係を理解するとともに、文章全体の構成を理解している。	・第一段と第五段の呼応関係を理解していないか、理解していても文章全体の構成を理解していない。
	④内容把握 読(1) ア	・「忘却」という人間特有の能力の長所と短所を読み取り、それぞれ説明している。 ・筆者が考える人間の脳の「ゆとり」や「寛容性」について読み取り、説明している。	・「忘却」という人間特有の能力の長所と短所を読み取っている。 ・筆者が考える人間の脳の「ゆとり」や「寛容性」について読み取っている。	・「忘却」という人間特有の能力の長所と短所を読み取っていない。 ・筆者が考える人間の脳の「ゆとり」や「寛容性」について読み取っていない。
	⑤論点の把握 読(1) ア	・学ぶことの意義について、筆者の主張を「コンピューター」と「人間」の比較をしたうえで読み取り、説明している。	・学ぶことの意義について、筆者の主張を、「コンピューター」と「人間」の比較をしたうえで読み取っている。	・学ぶことの意義について、筆者の主張を、「コンピューター」と「人間」の比較をしたうえで読み取っていない。
	⑥内容の解釈 読(1) オ	・「コンピューター」と「人間」の違いについて、関連する文章や資料を相互に比較・分析して、筆者の主張についての解釈を深め、説明している。	・「コンピューター」と「人間」の違いについて、関連する文献や資料を相互に比較・分析して、筆者の主張についての解釈を深めている。	・「コンピューター」と「人間」の違いについて、関連する文献や資料を相互に比較・分析して、筆者の主張についての解釈を深めていない。

	⑦情報検討と考察 読(1)キ	・「知恵」が持つ性質について、思考ツールを用いながら整理し、自分の考えを深め、根拠をもって説明している。	・「知恵」が持つ性質について、思考ツールを用いながら整理し、自分の考えを深めている。	・「知恵」が持つ性質について、思考ツールを用いながら整理し、自分の考えを深めていない。
	⑧情報の収集 書(1)ア	・「忘却」という能力の長所と短所をまとめるために、本文から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・「忘却」という能力の長所と短所をまとめるために、本文から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・「忘却」という能力の長所と短所をまとめるために、本文から必要な情報を収集・整理しておらず、根拠となる題材を選んでいる。
	⑨表現の検討 書(1)オ	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味している。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味していない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑩学習への態度	・筆者の学ぶことの意義についての主張を踏まえたうえで、「コンピューター」と「人間」の違いについて、自分の考えを深め、説明しようとしている。	・筆者の学ぶことの意義についての主張を踏まえたうえで、「コンピューター」と「人間」の違いについて、自分の考えを深めようとしている。	・筆者の学ぶことの意義についての主張を踏まえたうえで、「コンピューター」と「人間」の違いについて、自分の考えを深めようとしていない。

■「ラップトップ抱えた『石器人』」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③内容の把握 読(1) ア	・各段落の要旨を、具体的な事例と筆者の主張とを判別して読み取り、説明している。	・各段落の要旨を、具体的な事例と筆者の主張とを判別して読み取っている。	・各段落の要旨を、具体的な事例と筆者の主張とを判別して読み取っていない。
	④内容把握 読(1) ア	・「ラップトップ」と「石器人」がそれぞれ何を象徴しているか理解し、「ラップトップ抱えた『石器人』」が表しているものについて、筆者の考えを読み取り、説明している。 ・「リスク」が具体的に何を示すか読み取り、リスクの認識についての筆者の考えを理解し、説明している。 ・「ギャンブラーの誤謬」の例から、筆者の述べようとしていることを読み取り、根拠をもって説明している。 ・「ヒューマンエラー」について筆者の考えを読み取り、根拠をもって説明している。 ・「私自身の脳が百年前の人々よりも優れているからではない」という考えを筆者がどのように論証しているか読み取り、説明している。	・「ラップトップ」と「石器人」がそれぞれ何を象徴しているか理解し、「ラップトップ抱えた『石器人』」が表しているものについて、筆者の考えを読み取っている。 ・「リスク」が具体的に何を示すか読み取り、リスクの認識についての筆者の考えを理解している。 ・「ギャンブラーの誤謬」の例から、筆者の述べようとしていることを読み取っている。 ・「ヒューマンエラー」について筆者の考えを読み取っている。 ・「私自身の脳が百年前の人々よりも優れているからではない」という考えを筆者がどのように論証しているか読み取っている。	・「ラップトップ」と「石器人」がそれぞれ何を象徴しているか理解し、「ラップトップ抱えた『石器人』」が表しているものについて、筆者の考えを読み取っていない。 ・「リスク」が具体的に何を示すか読み取っていないか、読み取っていてもリスクの認識についての筆者の考えを理解していない。 ・「ギャンブラーの誤謬」の例から、筆者の述べようとしていることを読み取っていない。 ・「ヒューマンエラー」について筆者の考えを読み取っていない。 ・「私自身の脳が百年前の人々よりも優れているからではない」という考えを筆者がどのように論証しているか読み取っていない。

	⑤内容の解釈 読(1)オ	・「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」について、それぞれの筆者の立場や目的などを比較しながら、文章の背景を理解し、内容の解釈を深め、根拠とともに説明している。	・「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」について、それぞれの筆者の立場や目的などを比較しながら、文章の背景を理解し、内容の解釈を深めている。	・「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」について、それぞれの筆者の立場や目的などを比較しながら、文章の背景を理解せず、内容の解釈を深めていない。
	⑥情報検討と考察 読(1)キ	・「人間の脳の特性」について、「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」との比較から得た情報を整理・分析し、自分の考えを深め、説明している。	・「人間の脳の特性」について、「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」との比較から得た情報を整理・分析し、自分の考えを深めている。	・「人間の脳の特性」について、「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」との比較から得た情報を整理・分析せず、自分の考えを深めていない。
	⑦情報の収集 書(1)ア	・「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」を読み比べ、自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」を読み比べ、自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」を読み比べ、自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を収集・整理していないか、根拠となる題材を選んでいる。
	⑧根拠の検討 書(1)エ	・「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」を読み比べ、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討し、説明している。	・「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」を読み比べ、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討している。	・「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」を読み比べ、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討していない。
	⑨表現の検討 書(1)オ	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味している。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑩学習への態度	・「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」を読み比べ、それぞれの筆者の主張を踏まえたうえで、人間の脳の働きや知性について、自分の考えを深め、根拠とともに説明しようとしている。	・「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」を読み比べ、それぞれの筆者の主張を踏まえたうえで、人間の脳の働きや知性について、自分の考えを深めようとしている。	・「学ぶことと人間の知恵」と「ラップトップ抱えた『石器人』」を読み比べ、それぞれの筆者の主張を踏まえたうえで、人間の脳の働きや知性について、自分の考えを深めようとしていない。

■「【論理の力】論証する力」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①反論の理解 (2)ア	・示された主張に対し、異なる根拠を挙げて別の結論を導出する反論について理解し、論証を検討する筋道を適切に捉えている。	・示された主張に対し、異なる根拠を挙げて別の結論を導出する反論について理解している。	・示された主張に対し、異なる根拠を挙げて別の結論を導出する反論について理解していない。
	②推論の理解 (2)ウ	・推論の適切さを「根拠」と「導出」に基づいて確かめる重要性を理解し、論証の説得力を判断する方法を適切に捉えている。	・推論の適切さを「根拠」と「導出」に基づいて確かめる重要性を理解している。	・推論の適切さを「根拠」と「導出」に基づいて確かめる重要性を理解していない。
思考・判断・表現	③妥当性の吟味 読(1)ウ	・取り上げられた問題について、「根拠」と「導出」の違いを的確に捉え、論証の適切さを判断しながら読んでいる。	・取り上げられた問題について、「根拠」と「導出」の違いを的確に捉えている。	・取り上げられた問題について、「根拠」と「導出」の違いを的確に捉えていない。
	④考えの形成 読(1)カ	・示された論証を検討、判断して、新たな観点から自分の考えを深めている。	・示された論証を検討、判断して、自分の考えを深めている。	・示された論証を検討、判断して、自分の考えを深めていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤学習への態度	・論証の説得力を持つための「根拠」と「導出」の違いと関連性を理解したうえで論証し、自分の主張の説得力を検討、判断しようとしている。	・論証の説得力を持つための「根拠」と「導出」の違いと関連性を理解したうえで、論証しようとしている。	・論証の説得力を持つための「根拠」と「導出」の違いと関連性を理解しておらず、論証しようとしていない。

■「思考の肺活量」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 - 筆者の主張と例示の関係を指摘することで、文章の構成について把握し、説明している。	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 - 筆者の主張と例示の関係を指摘することで、文章の構成について把握している。	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 - 筆者の主張と例示の関係を指摘していないか、指摘しても文章の構成について把握していない。
思考・判断・表現	③展開の把握 読(1) ア	三つの段落で述べられている内容を整理し、全体の構成を把握したうえで、説明している。	三つの段落で述べられている内容を整理し、全体の構成を把握している。	三つの段落で述べられている内容を整理し、全体の構成を把握していない。
	④内容把握 読(1) ア	「思考」のために必要な「肺活量」とはどのようなものかを読み取り、説明している。 「分からないまま正確に対処する」ことが求められる場面について読み取り、説明している。 - 第二段における三つの例示を、「思考の肺活量」に即して考察して理解し、説明している。 - 筆者の述べる「思考の原型」について、「外へ出る」という比喩表現を理解したうえで読み取り、説明している。	「思考」のために必要な「肺活量」とはどのようなものかを読み取っている。 「分からないまま正確に対処する」ことが求められる場面について、読み取っている。 - 第二段における三つの例示を、「思考の肺活量」に即して考察して理解している。 - 筆者の述べる「思考の原型」について、「外へ出る」という比喩表現を理解したうえで読み取っている。	「思考」のために必要な「肺活量」とはどのようなものかを読み取っていない。 「分からないまま正確に対処する」ことが求められる場面について、読み取っていない。 - 第二段における三つの例示を、「思考の肺活量」に即して考察して理解していない。 - 筆者の述べる「思考の原型」について、「外へ出る」という比喩表現を理解したうえで読み取っていない。

		筆者が考える、「思考の肺活量」が必要となる局面や内実、それを身に付けることの目的を、現代の「思考の趨勢」と対比させて整理し、根拠をもって説明している。	筆者が考える、「思考の肺活量」が必要となる局面や内実、それを身に付けることの目的を、現代の「思考の趨勢」と対比させて整理している。	筆者が考える、「思考の肺活量」が必要となる局面や内実、それを身に付けることの目的を、現代の「思考の趨勢」と対比させて整理していない。
	⑤筆者の意図の解釈 読(1)エ	筆者が主張を展開するにあたり、「例示」や比喩表現を多用する意図を推測し、その表現の効果について理解し、根拠とともに説明している。	筆者が主張を展開するにあたり、「例示」や比喩表現を多用する意図を推測し、その表現の効果について理解している。	筆者が主張を展開するにあたり、「例示」や比喩表現を多用する意図を推測し、その表現の効果について理解していない。
	⑥情報の収集 書(1)ア	三つの例示について、どのような場面でどのような思考がなされているかを表に整理するために、本文から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	三つの例示について、どのような場面でどのような思考がなされているかを表に整理するために、本文から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	三つの例示について、どのような場面でどのような思考がなされているかを表に整理するために、本文から必要な情報を収集・整理していないか、収集・整理していても根拠となる題材を選んでいる。
主体的に学習に取り組む態度	⑦学習への態度	筆者の主張を踏まえて、「思考」における「本当にだいたいなこと」について、比喩表現を理解したうえで考えを深め、説明しようとしている。	筆者の主張を踏まえて、「思考」における「本当にだいたいなこと」について、比喩表現を理解したうえで考えを深めようとしている。	筆者の主張を踏まえて、「思考」における「本当にだいたいなこと」について、比喩表現を理解したうえで考えを深めようとしていない。

■「安心について」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③展開の把握 読(1) ア	・起承転結の構成を把握し、各部分の内容を整理して指摘し、説明している。	・起承転結の構成を把握し、各部分の内容を整理して指摘している。	・起承転結の構成を把握し、各部分の内容を整理していない。
	④内容把握 読(1) ア	・第一段でのシュルツの言う「安心」の意味とペパーミント パティの不安の内容を読み取り、説明している。 ・第一段の内容と第二段の内容の対応関係を的確に読み取り、説明している。 ・子供と老人にとっての、それぞれの「安心」とは何かについて、本文の内容を整理してまとめ、説明している。	・第一段でのシュルツの言う「安心」の意味とペパーミント パティの不安の内容を読み取っている。 ・第一段の内容と第二段の内容の対応関係を的確に読み取っている。 ・子供と老人にとっての、それぞれの「安心」とは何かについて、本文の内容を整理してまとめている。	・第一段でのシュルツの言う「安心」の意味とペパーミント パティの不安の内容を読み取っていない。 ・第一段の内容と第二段の内容の対応関係を的確に読み取っていない。 ・子供と老人にとっての、それぞれの「安心」とは何かについて、本文の内容を整理してまとめていない。
	⑤妥当性の吟味 読(1) ウ	・「世界には、この漫画の意味が解せない人々も数多くいる。」と「子供にとって安心とはどういうものかは誰にでも分かる。」という二つの叙述の関係を批判的に検討したうえで、筆者が述べる「安心」というものの本質は何かを捉え、根拠をもって説明している。	・「世界には、この漫画の意味が解せない人々も数多くいる。」と「子供にとって安心とはどういうものかは誰にでも分かる。」という二つの叙述の関係を批判的に検討したうえで、筆者が述べる「安心」というものの本質は何かを捉えている。	・「世界には、この漫画の意味が解せない人々も数多くいる。」と「子供にとって安心とはどういうものかは誰にでも分かる。」という二つの叙述の関係を批判的に検討せず、筆者が述べる「安心」というものの本質は何かを捉えていない。

	⑥筆者の意図の解釈 読（１）エ	・ 筆者がシュルツに成り代わり、直接話法で表現した意図について推測し、その効果を理解し、説明している。 ・ 第三段で、筆者がアメリカや現代の日本以外の世界の国々に言及した筆者の意図について推測し、その段落の働きを理解し、説明している。	・ 筆者がシュルツに成り代わり、直接話法で表現した意図について推測し、その効果を理解している。 ・ 第三段で、筆者がアメリカや現代の日本以外の世界の国々に言及した筆者の意図について推測し、その段落の働きを理解している。	・ 筆者がシュルツに成り代わり、直接話法で表現した意図について推測し、その効果を理解していない。 ・ 第三段で、筆者がアメリカや現代の日本以外の世界の国々に言及した筆者の意図について推測していないか、推測していてもその段落の働きを理解していない。
	⑦情報の収集 書（１）ア	・ 筆者の主張を踏まえ、自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・ 筆者の主張を踏まえ、自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験から情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・ 筆者の主張を踏まえて自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験から情報を収集・整理していないか、整理だけにとどまり、根拠となる題材を選んでいる。
	⑧論点の検討 書（１）イ	・ 筆者の主張を踏まえ、各情報の共通点や相違点、相互関係を整理して的確に考察し、自分の視点と考えを明確にしている。	・ 筆者の主張を踏まえ、各情報の共通点や相違点、相互関係を整理して考察し、自分の考えを明確にしている。	・ 筆者の主張を踏まえ、各情報の共通点や相違点、相互関係を整理して考察し、自分の考えを明確にしていない。
	⑨表現の検討 書（１）オ	・ 自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・ 自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味している。	・ 自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑩学習への態度	・ シュルツが描きたかった「安心」について、筆者がどのように捉えているかを、本文から読み取った内容をもとに考えを深め、説明しようとしている。	・ シュルツが描きたかった「安心」について、筆者がどのように捉えているかを、本文から読み取った内容をもとに、考えを深めようとしている。	・ シュルツが描きたかった「安心」について、筆者がどのように捉えているかを、本文から読み取った内容をもとに考えを深めようとしていない。

■「【論理の力】質問する力」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①情報の理解 (2) ア	・論理的文章の内容を検討し、質問することを通して、論証内容を評価できるようになることを理解し、観点を押さえた適切な質問を考えている。	・論理的文章の内容を検討し、質問することを通して、論証内容を評価できるようになることを理解し、質問を考えている。	・論理的文章の内容を検討し、質問することを通して、論証内容を評価できるようになることを理解しておらず、質問を考えていない。
	②推論の理解 (2) ウ	・三つの観点の質問を念頭に置いて、論理的文章を検証し、その文章の内容に応じた適切な質問を考えている。	・三つの観点の質問を念頭に置いて、論理的文章を検証し、質問を考えている。	・三つの観点の質問を念頭に置かず、漠然と論理的文章を検証し、質問を考えていない。
思考・判断・表現	③多角的な観点の理解 読(1) エ	・取り上げられた問題について、三つの質問の観点を押さえた内容の質問を考え、それ以外の観点もあることを理解して読んでいる。	・取り上げられた問題について、三つの質問の観点を押さえた内容の質問を考えながら読んでいる。	・取り上げられた問題について、三つの質問の観点を押さえた内容の質問を考えながら読んでいない。
	④考えの形成 読(1) カ	・取り上げられた問題について、文章の構成と質問のよしあしとの関連を考えながら読み、的確でよりよい質問の内容を意識して、自分の考えを深めている。	・取り上げられた問題について、文章の構成と質問のよしあしとの関連を考えながら読み、質問する内容について自分の考えを深めている。	・取り上げられた問題について、文章の構成と質問のよしあしとの関連を考えながら読んでおらず、質問する力について自分の考えを深めていない。
学習に取り組む態度	⑤学習への態度	・論理的文章におけるよりよい質問とは何かを理解し、他の文章においても理解したことを適切に用いながら読もうとしている。	・論理的文章におけるよい質問とは何かを理解し、取り上げられた問題を読もうとしている。	・論理的文章におけるよい質問とは何かを理解せず、取り上げられた問題を読もうとしていない。

■「〔書く〕仮説を立てて検証しよう」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①論の形式 〔1〕エ	・仮説の検証過程を的確に報告文にまとめるための文章構成や展開を理解し、その特徴を説明している。	・仮説の検証過程を的確に報告文にまとめるための文章構成や展開を理解している。	・仮説の検証過程を的確に報告文にまとめるための文章構成や展開を理解していない。
	②情報の理解 〔2〕ア	・複数の資料を比較して共通点・相違点を整理し、関連づける要素を分析して、仮説を立証する根拠となる情報を検討し、説明している。	・複数の資料を比較して共通点・相違点を整理し、関連づける要素を分析して、仮説を立証する根拠となる情報を検討している。	・複数の資料を比較して共通点・相違点を整理していないか、整理だけにとどまり、仮説を立証する根拠となる情報を検討していない。
	③推論の理解 〔2〕ウ	・把握した実態が起きる原因や理由を推測して、仮説を立てる推論の仕方を理解し、説明している。	・把握した実態が起きる原因や理由を推測して、仮説を立てる推論の仕方を理解している。	・把握した実態が起きる原因や理由を推測して、仮説を立てる推論の仕方を理解していない。
	④読書の意義 〔3〕ア	・新たな考えや思考力・認識を生むための読書の意義と効用について理解し、説明している。	・新たな考えや思考力・認識を生むための読書の意義と効用について理解している。	・新たな考えや思考力・認識を生むための読書の意義と効用について理解していない。
思考・判断・表現	⑤情報の収集 書〔1〕ア	・収集した情報について観点到に沿って整理・関係づけし、仮説の検証に必要な内容を立証の情報として適切に取捨選択している。	・収集した情報について観点到に沿って整理・関係づけし、仮説の検証に必要な内容を取捨選択している。	・収集した情報について観点到に沿って整理・関係づけしていないか、したにとどまり、仮説の検証に必要な内容を取捨選択していない。
	⑥根拠の検討 書〔1〕エ	・多面的・多角的視点から自分の仮説の妥当性を見直し、その適否について検討し、説明している。	・多面的・多角的視点から自分の仮説の妥当性を見直し、その適否について検討している。	・多面的・多角的視点から自分の仮説の妥当性を見直し、その適否について検討していない。
	⑦表現の検討 書〔1〕オ	・仮説検証の過程の報告文として、的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・仮説検証の過程の報告文として、的確な文章であるかを検討・吟味している。	・仮説検証の過程の報告文として、的確な文章であるかを検討・吟味していない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑧学習への態度	・ 日常や社会で見られる現象を把握し、問題意識をもってその原因や理由を考えて仮説を立て、情報を集めて検証する過程についての理解を深め、説明しようとしている。	・ 日常や社会で見られる現象を把握し、その原因や理由を考えて仮説を立て、情報を集めて検証する過程についての理解を深めようとしている。	・ 日常や社会で見られる現象を把握し、その原因や理由を考えて仮説を立て、情報を集めて検証する過程についての理解を深めようしていない。
-----------------------	---------	--	--	--

■「弱肉強食は自然の摂理か」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③構成の把握 読(1) イ	・ハフェーカーの実験結果の資料を含めた文章の構成について、筆者の意図を理解し、その主張と資料との関係を的確に捉え、説明している。	・ハフェーカーの実験結果の資料を含めた文章の構成について、筆者の意図を理解し、その主張と資料との関係を捉えている。	・ハフェーカーの実験結果の資料を含めた文章の構成について、筆者の意図を理解していないか、理解していてもその主張と資料との関係を捉えていない。
	④論理の展開の把握 読(1) エ	・筆者の提示する問題について、問いや根拠を提示しながら進める論の展開に注目して中心的主張を的確に捉え、論点を把握して説明している。	・筆者の提示する問題について、問いや根拠を提示しながら進める論の展開に注目して中心的主張を捉え、論点を把握している。	・筆者の提示する問題について、問いや根拠を提示しながら進める論の展開に注目して中心的主張を捉えていないか、捉えていても論点を把握していない。
	⑤資料との関係把握 読(1) イ	・ハフェーカーの実験結果の資料と筆者の述べる「生態学における強さの概念」および「自然の摂理」との関係について理解し、説明している。	・ハフェーカーの実験結果の資料と筆者の述べる「生態学における強さの概念」および「自然の摂理」との関係について理解している。	・ハフェーカーの実験結果の資料と筆者の述べる「生態学における強さの概念」および「自然の摂理」との関係について理解していない。

	⑥筆者の意図の解釈 読(1)エ	・問いや根拠を提示しながら論を進めていく筆者の意図を推察し、その効果を検討して説明している。 ・筆者が問題として提示した、仮定としての「〈弱肉強食論〉」に対する主張について、それを支える根拠が適切な表現や資料であるかを多角的に検討し、筆者の意図を推測し、説明している。 ・生態学の「種間の強さの差」の理解を促すために、シマウマとライオンの例を示した筆者の意図を推察し、その効果を検討し、説明している。	・問いや根拠を提示しながら論を進めていく筆者の意図を推察し、その効果を検討している。 ・筆者が問題として提示した、仮定としての「〈弱肉強食論〉」に対する主張について、それを支える根拠が適切な表現や資料であるかを検討し、筆者の意図を推測している。 ・生態学の「種間の強さの差」の理解を促すために、シマウマとライオンの例を示した筆者の意図を推察し、その効果を検討している。	・問いや根拠を提示しながら論を進めていく筆者の意図を推察していないか、推察してもその効果を検討していない。 ・筆者が問題として提示した、仮定としての「〈弱肉強食論〉」に対する主張について、それを支える根拠が適切な表現や資料であるかを検討していないか、検討してもその意図を推測していない。 ・生態学の「種間の強さの差」の理解を促すために、シマウマとライオンの例を示した筆者の意図を推察していないか、推察してもこの効果を検討していない。
	⑦情報の収集 書(1)ア	・生態学における強さの概念について、自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・生態学における強さの概念について、自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・生態学における強さの概念について、自分の考えを文章にまとめるために、これまでの経験や知識から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。
	⑧吟味・推敲 書(1)カ	・自身の文章について、他者との意見交換を踏まえて構成や展開を吟味し、適切な修正を行っている。	・自身の文章について、他者との意見交換を踏まえて、適切な修正を行っている。	・自身の文章について、他者との意見交換を踏まえて、適切な修正を行っていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑨学習への態度	・ハフェーカーの実験結果のグラフから読み取れることを、筆者の述べる「生態学における強さ」や「弱肉強食」の概念、「自然の摂理」についての主張を踏まえて的確に理解し、説明しようとしている。	・ハフェーカーの実験結果のグラフから読み取れることを、筆者の述べる「生態学における強さ」や「弱肉強食」の概念、「自然の摂理」についての主張を踏まえて理解しようとしている。	・ハフェーカーの実験結果のグラフから読み取れることを、筆者の述べる「生態学における強さ」や「弱肉強食」の概念、「自然の摂理」についての主張を踏まえて理解しようとしていない。

■「複数の『わたし』」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読(1) ア	・「複数の『わたし』」「分人」とそれに対する「本当の『わたし』」「個人」との違いについて、論理の展開を的確に捉えたうえで理解し、説明している。	・「複数の『わたし』」「分人」とそれに対する「本当の『わたし』」「個人」との違いについて、論理の展開を捉えたうえで理解している。	・「複数の『わたし』」「分人」とそれに対する「本当の『わたし』」「個人」との違いについて、論理の展開を捉えたうえで理解していない。
	④内容把握 読(1) ア	・「アイデンティティ」に対する筆者の考えを、直後の平野啓一郎の議論を踏まえて理解し、説明している。 ・ストラザーンの述べる「ハーゲンの人々の人格」の捉え方について、「根拠」の接続表現を用いてまとめることで理解し、説明している。 ・「わたし」と「他者」との関係についての筆者の主張を読み取り、「少し気が楽になりませんか」という筆者の言葉に込められた考え方を理解し、根拠とともに説明している。	・「アイデンティティ」に対する筆者の考えを、直後の平野啓一郎の議論を踏まえて理解している。 ・ストラザーンの述べる「ハーゲンの人々の人格」の捉え方について、「根拠」の接続表現を用いてまとめることで理解している。 ・「わたし」と「他者」との関係についての筆者の主張を読み取り、「少し気が楽になりませんか」という筆者の言葉に込められた考え方を理解している。	・「アイデンティティ」に対する筆者の考えを、直後の平野啓一郎の議論を踏まえて理解していない。 ・ストラザーンの述べる「ハーゲンの人々の人格」の捉え方について、「根拠」の接続表現を用いてまとめていないか、まとめていても理解していない。 ・「わたし」と「他者」との関係についての筆者の主張を読み取っていないか、読み取っていても「少し気が楽になりませんか」という筆者の言葉に込められた考え方を理解していない。

	⑤妥当性の吟味 読(1)ウ	・「近代の個人主義的な人間観」に対する筆者の主張を支える根拠として、ストラザーンの主張を提示したことについて、筆者の意図を吟味し、その適切さを批判的に検討しながら解釈し、根拠とともに説明している。	・「近代の個人主義的な人間観」に対する筆者の主張を支える根拠として、ストラザーンの主張を提示したことについて、筆者の意図を吟味し、その適切さを批判的に検討しながら解釈している。	・「近代の個人主義的な人間観」に対する筆者の主張を支える根拠として、ストラザーンの主張を提示したことについて、筆者の意図を吟味していないか、吟味していてもその適切さを批判的に検討しながら解釈していない。
	⑥情報の収集 書(1)ア	・「個人」と「分人」の違いを図や表にまとめるために、本文やその他の文章、これまでの経験や知識から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・「個人」と「分人」の違いを図や表にまとめるために、本文やその他の文章、これまでの経験や知識から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・「個人」と「分人」の違いを図や表にまとめるために、本文やその他の文章、これまでの経験や知識から必要な情報を収集・整理していないか、根拠となる題材を選んでいる。
主体的に学習に取り組む態度	⑦学習への態度	・筆者の考え方を踏まえて、自分自身の「わたし」の捉え方を振り返って見直し、「わたし」についての考え方を深め、説明しようとしている。	・筆者の考え方を踏まえて、自分自身の「わたし」の捉え方を振り返って見直し、「わたし」についての考え方を深めようとしている。	・筆者の考え方を踏まえて、自分自身の「わたし」の捉え方を振り返って見直し、「わたし」についての考え方を深めようとしていない。

■「はじめに『言葉』がある」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読(1) ア	・「ファッション」に「言葉」を必要とするという筆者の主張を読み取り、筆者にとって「言葉」とはどのようなものであるかを理解し、説明している。	・「ファッション」に「言葉」を必要とするという筆者の主張を読み取り、筆者にとって「言葉」とはどのようなものであるかを理解している。	・「ファッション」に「言葉」を必要とするという筆者の主張を読み取っていないか、読み取っていても筆者にとって「言葉」とはどのようなものであるかを理解していない。
	④内容理解 読(1) ア	・「服」や「建築」と「ファッション」との関係に対する筆者の考えを読み取り、説明している。 ・「ふきよせ」という言葉で、筆者が何を表そうとしたのかを読み取り、説明している。 ・筆者がコレクションのテーマに、造語ではなく「言葉」を見つけるのはなぜかを読み取り、説明している。	・「服」や「建築」と「ファッション」との関係に対する筆者の考えを読み取っている。 ・「ふきよせ」という言葉で、筆者が何を表そうとしたのかを読み取っている。 ・筆者がコレクションのテーマに、造語ではなく「言葉」を見つけるのはなぜかを読み取っている。	・「服」や「建築」と「ファッション」との関係に対する筆者の考えを読み取っていない。 ・「ふきよせ」という言葉で、筆者が何を表そうとしたのかを読み取っていない。 ・筆者がコレクションのテーマに、造語ではなく「言葉」を見つけるのはなぜかを読み取っていない。
	⑤考えの形成 読(1) カ	・筆者の述べる、「生活の三要素に今求められている」ものについて、自分の経験や身近な媒体で見られる関連の商品や、それらにまつわる報道などと結び付けて評価し、多面的・多角的な視点で自分の考えを深め、説明している。	・筆者の述べる、「生活の三要素に今求められている」ものについて、自分の経験や身近な媒体で見られる関連の商品や、それらにまつわる報道などと結び付けて評価し、自分の考えを深めている。	・筆者の述べる、「生活の三要素に今求められている」ものについて、自分の経験や身近な媒体で見られる関連の商品や、それらにまつわる報道などと結び付けて評価していないか、評価していても自分の考えを深めていない。

		・「見立て」「やつし」「ふきよせ」「ほのか」のそれぞれの言葉の意味を踏まえて、それをテーマにした服がどのようなものになるか、考えを深め、根拠をもって説明している。	・「見立て」「やつし」「ふきよせ」「ほのか」のそれぞれの言葉の意味を踏まえて、それをテーマにした服がどのようなものになるか、考えを深めている。	・「見立て」「やつし」「ふきよせ」「ほのか」のそれぞれの言葉の意味を踏まえて、それをテーマにした服がどのようなものになるか、考えを深めていない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑥学習への態度	・筆者の「言葉」に対する考えと仕事の経験から読み取ったことをもとに、「働くこと」と「言葉」との関わりについて、自分の考えを深め、考察したことを説明しようとしている。	・筆者の「言葉」に対する考えと仕事の経験から読み取ったことをもとに、「働くこと」と「言葉」との関わりについて、自分の考えを深めようとしている。	・筆者の「言葉」に対する考えと仕事の経験から読み取ったことをもとに、「働くこと」と「言葉」との関わりについて自分の考えを深めようとしていない。

■「楽に働くこと、楽しく働くこと」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③資料との関係把握 読(1) イ	・筆者が、高校生に向けて内山節『情景のなかの労働』と白鷹幸伯『鉄、千年のいのち』の二冊を「ぜひ薦めたい」とする意図を、それぞれの著作を紹介した箇所から的確に読み取り、説明している。	・筆者が、高校生に向けて内山節『情景のなかの労働』と白鷹幸伯『鉄、千年のいのち』の二冊を「ぜひ薦めたい」とする意図を、それぞれの著作を紹介した箇所から読み取っている。	・筆者が、高校生に向けて内山節『情景のなかの労働』と白鷹幸伯『鉄、千年のいのち』の二冊を「ぜひ薦めたい」とする意図を、それぞれの著作を紹介した箇所から読み取っていない。
	④内容の解釈 読(1) オ	・内山節の「情景のなかの労働」をもとに、筆者の労働における「楽さ」と「楽しさ」についての考えにどのような変化があったのか、その背景を理解して説明し、解釈を深めている。 ・白鷹幸伯の「楽しそうに働いていた」姿の描写や「鉄、千年のいのち」をもとに、筆者が働くことについて学んだことを推測し、筆者が述べる「楽しく働くこと」の解釈を深めて理解している。	・内山節の「情景のなかの労働」をもとに、筆者の労働における「楽さ」と「楽しさ」についての考えにどのような変化があったのかを理解している。 ・白鷹幸伯の「楽しそうに働いていた」姿の描写や「鉄、千年のいのち」をもとに、筆者が働くことについて学んだことを推測し、筆者が述べる「楽しく働くこと」を理解している。	・内山節の「情景のなかの労働」をもとに、筆者の労働における「楽さ」と「楽しさ」についての考えにどのような変化があったのかを理解していない。 ・白鷹幸伯の「楽しそうに働いていた」姿の描写や「鉄、千年のいのち」をもとに、筆者が働くことについて学んだことを推測し、筆者が述べる「楽しく働くこと」を理解していない。
	⑤情報の収集 書(1) ア	・「楽に働くこと」と「楽しく働くこと」の違いを、図や表に整理するために、本文から必要	・「楽に働くこと」と「楽しく働くこと」の違いを、図や表に整理するために、本文から必要	・「楽に働くこと」と「楽しく働くこと」の違いを、図や表に整理するために、本文から必要

		な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。 ・「働くよろこび」について、自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験や知識から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。 ・「働くよろこび」について、自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験や知識から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	な情報を収集・整理せず、根拠となる題材を選んでいる。 ・「働くよろこび」について、自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験や知識から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。
	⑥情報の検討 書（１）イ	・各資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理して考察し、自分の視点と意見を明確にして、説明している。	・各資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理して考察し、自分の視点と意見を明確にしている。	・各資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理して考察しておらず、自分の視点と意見を明確にしていない。
	⑦表現の検討 書（１）オ	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味している。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑧学習への態度	・「楽しく働くこと」について、それぞれの文章の筆者の立場に基づく考えを理解し、「働くよろこび」について自分の考えを深め、説明しようとしている。	・「楽しく働くこと」について、それぞれの文章の筆者の立場に基づく考えを理解し、「働くよろこび」について自分の考えを深めようとしている。	・「楽しく働くこと」について、それぞれの文章の筆者の立場に基づく考えを理解せず、「働くよろこび」について自分の考えを深めようとしていない。

■「情景のなかの労働」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③資料との関係把握 読(1) イ	・巻末の参考資料と本文の語注とそれに関する文章をもとに、筆者の述べる『『仕事』の世界』について理解し、その景色の「美しさ」の背景にあるものを理解している。	・巻末の参考資料と本文の語注とそれに関する文章をもとに、筆者の述べる『『仕事』の世界』の「美しさ」について理解している。	・巻末の参考資料と本文の語注とそれに関する文章をもとに、筆者の述べる『『仕事』の世界』の「美しさ」について理解していない。
	④内容の解釈 読(1) オ	・対比的に用いられている「稼ぎ」と「仕事」について、「楽に働くこと、楽しく働くこと」「鉄、千年のいのち」の筆者の考えとの比較を通して、その違いについての筆者の主張を推測し、その背景を理解して解釈を深めようとしている。	・対比的に用いられている「稼ぎ」と「仕事」について、「楽に働くこと、楽しく働くこと」「鉄、千年のいのち」の筆者の考えとの比較を通して、その違いについての筆者の主張を推測している。	・対比的に用いられている「稼ぎ」と「仕事」について、「楽に働くこと、楽しく働くこと」「鉄、千年のいのち」の筆者の考えとの比較を通して、その違いについての筆者の主張を推測していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤学習への態度	・筆者の考えを踏まえ、「楽に働くこと、楽しく働くこと」で話し合った内容とも結び付けて、「仕事」について考えたことを文章にまとめ、働くことについての理解を深めようとしている。	・筆者の考えを踏まえ、「楽に働くこと、楽しく働くこと」で話し合った内容とも結び付けて、「仕事」について考えたことを文章にまとめようとしている。	・筆者の考えを踏まえ、「楽に働くこと、楽しく働くこと」で話し合った内容とも結び付けて、「仕事」について考えたことを文章にまとめようとしていない。

■「鉄、千年のいのち」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③資料との関係把握 読(1) イ	・和釘づくりが「歴史への参加」であると述べる筆者の主張に対して、巻末の参考資料と本文の語注がどのような役割を果たしているかを把握し、説明している。	・和釘づくりが「歴史への参加」であると述べる筆者の主張に対して、巻末の参考資料と本文の語注がどのような役割を果たしているかを把握している。	・和釘づくりが「歴史への参加」であると述べる筆者の主張に対して、巻末の参考資料と本文の語注がどのような役割を果たしているかを把握していない。
	④内容の解釈 読(1) オ	・筆者の言う「飽き」がくる「職人の仕事」である「和釘づくり」に対する筆者の姿勢を、「楽に働くこと、楽しく働くこと」「情景のなかの労働」の筆者の主張と比較することで推測し、筆者の考え方への理解を深めている。	・筆者の言う「飽き」がくる「職人の仕事」である「和釘づくり」に対する筆者の姿勢を、「楽に働くこと、楽しく働くこと」「情景のなかの労働」の筆者の主張と比較することで推測している。	・筆者の言う「飽き」がくる「職人の仕事」である「和釘づくり」に対する筆者の姿勢を、「楽に働くこと、楽しく働くこと」「情景のなかの労働」の筆者の主張と比較することで推測していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤学習への態度	・働くことのよろこびや「楽しく働くこと」について、「楽に働くこと、楽しく働くこと」「情景のなかの労働」の筆者の主張を踏まえたうえで、働くことについての理解を深め、説明しようとしている。	・働くことのよろこびや「楽しく働くこと」について、「楽に働くこと、楽しく働くこと」「情景のなかの労働」の筆者の主張を踏まえたうえで、働くことについての理解を深めようとしている。	・働くことのよろこびや「楽しく働くこと」について、「楽に働くこと、楽しく働くこと」「情景のなかの労働」の筆者の主張を踏まえたうえで、働くことについての理解を深めようとしていない。

■「地図を作る」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読(1) ア	・地図作りにおける「デジタル」と「アナログ」について、文脈に沿って理解し、説明している。	・地図作りにおける「デジタル」と「アナログ」について、文脈に沿って理解している。	・地図作りにおける「デジタル」と「アナログ」について、文脈に沿って理解していない。
	④内容把握 読(1) ア	・筆者が細心の注意を払って地図を作った理由を読み取り、説明している。 ・仕事を続けていくうちに、筆者が知った楽しさを読み取り、説明している。 ・筆者の考える「デジタルの地図」と「紙の地図」の異なる点を読み取り、説明している。 ・本文と参考資料をもとに、筆者の考える「デジタル」と「アナログ」についての主張を理解し、説明している。	・筆者が細心の注意を払って地図を作った理由を読み取っている。 ・仕事を続けていくうちに、筆者が知った楽しさを読み取っている。 ・筆者の考える「デジタルの地図」と「紙の地図」の異なる点を読み取っている。 ・本文と参考資料をもとに、筆者の考える「デジタル」と「アナログ」についての主張を理解している。	・筆者が細心の注意を払って地図を作った理由を読み取っていない。 ・仕事を続けていくうちに、筆者が知った楽しさを読み取っていない。 ・筆者の考える「デジタルの地図」と「紙の地図」の異なる点を読み取っていない。 ・本文と参考資料をもとに、筆者の考える「デジタル」と「アナログ」についての主張を理解していない。
	⑤情報検討と考察 読(1) キ	・筆者の主張と、参考資料の違いを考察して、「ガイド用の地図」と「住宅地図」のそれぞれの作成方法について、自分の考えを深め、根拠をもって説明している。	・筆者の主張と、参考資料の違いを考察して、「ガイド用の地図」と「住宅地図」のそれぞれの作成方法について、自分の考えを深めている。	・筆者の主張と、参考資料の違いを考察して、「ガイド用の地図」と「住宅地図」のそれぞれの作成方法について、自分の考えを深めていない。
	⑥表現の検討 書(1) オ	・本文と参考資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理し、「ガイド用の地図」と	・本文と参考資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理し、「ガイド用の地図」と	・本文と参考資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理し、「ガイド用の地図」と

		「住宅地図」のそれぞれの作成方法を明確にしてまとめられているか検討している。	「住宅地図」のそれぞれの作成方法をまとめられているか検討している。	「住宅地図」のそれぞれの作成方法をまとめられているか検討していない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑦学習への態度	・筆者が仕事で学んだことを読み取り、自分の体験を振り返って、働くことの意義についての考えを深め、説明しようとしている。	・筆者が仕事で学んだことを読み取り、自分の体験を振り返って、働くことの意義についての考えを深めようとしている。	・筆者が仕事で学んだことを読み取り、自分の体験を振り返って、働くことの意義についての考えを深めようとしていない。